

平成28年度 農作物病虫害発生予察情報	特殊報 第1号	平成28年12月22日 秋田県病虫害防除所
------------------------	---------	--------------------------

ナシさび色胴枯病の発生について

1. 病虫害名（病原菌名）：ナシさび色胴枯病（*Erwinia chrysanthemi*）

2. 発生作物：ニホンナシ

3. 発生の経過

平成27年10月、県北部で激しい葉焼けと枝幹の褐変症状を発症しているナシ樹（品種：秋泉）1本が発見された（図－1～3）。同樹から検体を採取し、横浜植物防疫所に診断を依頼したところ、植物病原細菌“*Erwinia chrysanthemi*”によるナシさび色胴枯病であることが判明した。

本病は、昭和47年頃千葉県で発生が初確認され、栃木県、福島県、神奈川県、佐賀県などで発病が確認されているが、秋田県での発生は初めてである。

4. 病徴

- （1）夏期から秋期にかけて幹及び枝に発症する。主幹及び2年生以上の枝に突発する傾向が強い。
- （2）初め発病部の樹皮面は灰黒色の水浸状となり、表皮から形成層に至る組織内に樹液様物が充満する。やがて表皮から部分的に樹液様物がにじみ出て樹皮面を流れ落ち、次第に乾固して鉄さび色に変色する（図－2）。
- （3）病患部の皮下は形成層や皮層の内部組織が褐変腐敗し、アルコール臭を発する。
- （4）通常1樹当たり数カ所で発病が見られる。本症状が幹や枝を一周すると、そこから先の葉は急速に葉枯れ（図－3）、落葉し、枝幹の一部又は全体が枯死する。

5. 宿主範囲

ニホンナシ、チュウゴクナシ、ホクシマメナシ、モモ

6. 防除対策

- （1）本病の防除法は確立されていないため、発病樹は伐採し直ちに焼却処分する。
- （2）伐採に使用した器具は適切に消毒する。

7. 資料



図－1 被害樹の樹姿



図－2 主枝の病徴



図－3 葉枯れ症状

【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所	TEL	018-881-3660
秋田県果樹試験場	TEL	0182-25-4224
かづの果樹センター	TEL	0186-25-3231
天王分場班	TEL	018-878-2251
掲載HP http://www.pref.akita.lg.jp/bojo/		